

SDGs 達成に向けた宣言書

宣言者 所在地 横手市大雄字田村 66-5
 名称 株式会社小松木工
 代表者 代表取締役社長 小松俊晴

株式会社小松木工

は、SDGs の内容を理解し、SDGs 達成に向けた方針及び取組を次のとおり宣言します。

SDGs 達成に向けた取組方針等と目指す姿

雇用の創出や人材の定着、そして日本の伝統技術の「組子」の継承に取り組むと同時に、森林保全や地球環境へ配慮した活動を通じて、持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献する企業を目指します。

3 側面 (主な分野に☑)	SDGs 達成に向けた 重点的な取組	2030 年に向けた 指標	重点的な取組及び 指標の進捗状況 <small>(※初回記入不要。1年ごとに要報告)</small> 初回登録年月日：R3年 11月 19日	関連する主な SDGs ゴール (最大3つ)
<input checked="" type="checkbox"/> 経済 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 環境	<ul style="list-style-type: none"> 充実した教育訓練 (若年者への直接指導や技能士検定の受験の推進) 誰もが組子に挑戦できる機会を提供 ISO9001 認証取得 	<ul style="list-style-type: none"> 技能士二級は、新入社員以外全員、一級は、社員の7~8割保有) 人材の定着率アップ イベント等への積極的な参加で、組子の認知度アップ 	<ul style="list-style-type: none"> 来春、一級家具製作技能士 1名受験予定。 《2021→2022年》有機溶剤作業主任者 3名→4名 ●組子イベント 参加件数 11件→19件 ●組子製作体験人数 202人→484人 	4、8
<input checked="" type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 環境	<ul style="list-style-type: none"> 限りある資源の有効利用 ISO14001、FSC®CoC 認証取得 	<ul style="list-style-type: none"> 正確な木取り、端材の有効利用 ごみの削減や分別、裏紙の利用を推進 仕事上で発生したごみの、リサイクル率アップ 	<ul style="list-style-type: none"> 端材、在庫の出入庫をこまめに確認、情報共有。 工場、現場 それぞれのルールに従った分別を徹底。(現場作業後、継続して使用できるものは持ち帰る。) ※但し、再利用できるものをむやみに取っておく 	12、15

			のではなく、きちんと使えるように整理・保管していくことが今後の課題。	
<input type="checkbox"/> 経済 <input checked="" type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 環境	・社会貢献活動の積極的な推進 ・地球環境に配慮した行動	・クリーンアップ活動の実施 ・各自マイボトルやマイカップを持参 ・最善の積み込み方を考え、必要最低限のトラック台数を確保（CO2削減へ）	・クリーンアップ活動→4月・10月実施済。 ・事務所マイボトル・マイカップ定着率100%。 ・積み込み時だけでなく、現場移動時、乗り合わせ等の工夫で、車使用台数を削減。荷物積み忘れによる運送増にも今後は気をつけていきたい。	11、13

ゴール番号	内容	アイコン
1	貧困をなくそう	
2	飢餓をゼロに	
3	すべての人に健康と福祉を	
4	質の高い教育をみんなに	
5	ジェンダー平等を実現しよう	
6	安全な水とトイレを世界中に	
7	エネルギーをみんなに、そしてクリーンに	
8	働きがいも経済成長も	

ゴール番号	内容	アイコン
9	産業と技術革新の基盤をつくろう	
10	人や国の不平等をなくそう	
11	住み続けられるまちづくりを	
12	つくる責任、つかう責任	
13	気候変動に具体的な対策を	
14	海の豊かさを守ろう	
15	陸の豊かさを守ろう	
16	平和と公正をすべての人に	
17	パートナーシップで目標を達成しよう	

